



(株)藤本組

松島 祥久



(株)三共不動産

土本 浩義

ウサギも跳ねる年に

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、良き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。私の生まれた60年前の1963年は翌年の東京オリンピックを控え、名神高速道路の開業、黒部ダムの完成、鉄腕アトムのTV放映開始、流行語は「バカンス」「ハッスル」、時代はイケイケどんどん真っ盛りでした。それに対して現在はロシアのウクライナ侵攻に伴う不安の醸成やもろもろの物価高騰、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、顔を合わせたの会合や事業が困難になるなど、生活環境が一変し、顔がうつむき加減になりそうです。

そんな環境下でも上を向き、DX(デジタルトランスフォーメーション)やGX(グリーントランスフォーメーション)等この時代に対応した、効率化や様々な環境に適した経営が求められるようになっております。法人会の会員の皆様と、税の啓もう活動をしながらともに学んでいきたいと思っております。本年は、月面周回ミッションが計画されているとのこと、お月様のウサギも跳ねる飛躍の年になりますよう、皆様方にとってより良い年になるようお祈り申し上げ、今後ともご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

「飛躍の年へぴょん」

新年あけましておめでとうございます。皆様には良き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は卯年ということで、私は5廻り目が始まったところです。社会的にも家庭でも重要な役割を果たすべき年齢となり、それなりに積んできた経験を活かし、気力体力もある今こそ、大切に過ごし活躍できる時期としたいです。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症が誰にとっても関心事ごとであり続けています。国の対応、税金の使い方を見ていると、若い世代が割を食っているなど感じつつも、誰もが納得する答えはないこと、また、展望を見いだせず、嫌われないように検討をするだけの指導者の姿が見えるばかりです。

政治の大半はどのように税金を集めてそれを配分するのかということです。そこで、法人会青年部会が永年取り組む租税教育活動の一環として、税金がどのように集められ使われているのか？を外国と比較しながら学べる授業を、これから社会へ出る高校生向けに構築しました。税金への関心を高め、若い自分たちでも社会に影響を与えることができることを伝えたいという想いがあります。この新しい授業の取り組みは、今年山形で行われる全国大会で発表します。

「卯年は跳ねる」私自身ここ数年の鬱憤を吹き飛ばして軽快に跳ねる年としたいです。皆様にとっても、今年は飛躍の年となることをお祈りして新年のご挨拶とさせていただきます。

